

文系でも統計を使おう

島根県立大学人間文化学部地域文化学科

スタートアップセミナー

令和3年6月10日(木)

島根県政策企画局統計調査課 森

文系の分野でも利用される数字

- 「文系だから数字を使わない」なんて、もはや無理。

分野	事 例
経済学	もともと数字に縁が深いのが、微分積分など高等数学を用いることで、大きく発展
歴史学	特に考古学の分野では炭素量による時代測定など、数字を用いた分析
文学	源氏物語や枕草子などの古典が電子テキスト化・データベース化 <ul style="list-style-type: none">• 言葉がどのように使われているか• 文学の作られた年代や文体の特徴を把握や、作者の同定・作品の真贋まで

理系の観点を使うことで、 視野を広げる

- レヴィ＝ストロース(文化人類学1908～2009)
 - ブラジルでのフィールドワークで得られた親族論の着想を、言語学の音韻論や数学の群論を用いることで発展させ、「構造主義」のきっかけに
 - 1977年11月15～20日、隠岐に渡って、見学・調査し、大いに感銘を受ける。
- 服部四郎（言語学・1908～95）
 - 日本語のルーツ・系統について、音韻や基礎語彙の比較・検討をする際、統計的手法を用いた「言語年代学」（語彙統計学）を提唱。当時の世界的な言語学者。
 - 浜田キャンパスに著作が集められている

実は、島根県にゆかりがある世界的権威。

数字を用いることの効用

- 問題を分かりやすくすること
- 論理的に考えること
- 人に分かりやすく伝えること

- 数学は言葉と並んで、人間が人間であることを最も鮮明にあらわすものです。しかも文学や音楽と同じように、毎日毎日の努力を積み重ねてはじめて身につけることができます。
- 数学の本質は、そのときどきの状況を冷静に判断し、しかも全体の大きな流れを見失うことなく、論理的に、理性的に考えを進めることにあります。

宇沢弘文「好きになる数学入門」岩波書店 より
(米子出身の世界的経済学者)



みなさん、こんにちは。

島根県知事の丸山達也(まるやまたつや)

です。

実は私はIターン者です。福岡県に

生まれ、東京をはじめ、全国各地で暮らしてきました。

そんな私が島根定住を決めたポイント

は、島根の皆さんの人柄の温かさと島根の暮らしの豊かさです。

島根県人は、何事にも真面目で一生懸命、そして困っている人がいるとお互い助け合い、地域社会の絆を守り続けています。

島根の暮らしは、いわゆる職住近接で通勤時間は短く、育住近接で待機児童もほとんどいません。出生率も全国トップクラスで、子育てしやすい環境に恵まれています。

是非皆さんも、「チームしまね」の一員に加わってください。

「皆さんのお越しをお待ちしております」

島根県知事 丸山達也



人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根をつくる



笑顔あふれる しまね暮らし宣言

島根には、自然と歴史の中で営んできた、人々の豊かな暮らしがあります。

近所では、子どもたちが元気に走り回り、若者は恋愛をし、趣味を楽しみ、地域活動にも参加する。

家族を思い、やりがいのある仕事に就き、高齢になっても、元気で生きがいを感じている。皆で囲む食卓は笑い声に包まれ、穏やかで心地よい時間が流れる。

そんなごく普通の暮らしです。

地域の助け合いや絆が残る古き良き人間関係が、郷土愛と誇りを育み、人々の多様な関わりを通して生まれる新しい試みが、未来への希望を高め、暮らしをより豊かなものにしていきます。

この人間らしい、温もりのある暮らしを、ここで営み続けたい。未来の子どもたちへ、大切に贈り届けたい。日本中の多くの人へ、島根にしかない暮らしを知ってもらいたい。

「島根創生」の始まりにあたり、「笑顔あふれるしまね暮らし」を守り、育て、未来へつなげていくことを、ここに宣言します。



イメージ動画はこちら



Access

島根県へは飛行機でのアクセスも便利です。出雲縁結び空港、萩・石見空港、隠岐世界ジオパーク空港の県内3つの空港に加え、隣接する鳥取県の米子鬼太郎空港も松江市中心部まで車で約30分。国内各主要都市から定期便が就航しています。



島根県

島根県 政策企画局 政策企画監室
〒690-8501 松江市殿町1番地
TEL: 0852-22-5093 / FAX: 0852-22-6034
E-mail: seisaku-kikaku@pref.shimane.lg.jp
URL: <https://www.pref.shimane.lg.jp/>

(2021年4月発行)

Invitation from
Shimane pref.

しまね からの 招待状



自分のサイズで、
生きていい。

いいけん、
島根県



The charm of Shimane pref.
ここにしかない
島根の魅力
をご紹介します。

都会の生活は便利で刺激的です。
でも反面、通勤ラッシュや住宅事情は
厳しいものがあります。
島根には、都会にはない魅力があります。
夕方には家族みんなで食卓を囲んで、
団らんを楽しむ、ごく普通の暮らしです。
あなたにとって、どちらが魅力的ですか？



あなたを必要としている、
あなたにピッタリの職場が
見つかります。
通勤時間が短く、
帰宅後はしっかり
リフレッシュできます。

通勤・通学時間
往復58分 短さ全国**2位**※1

他市区町村への通勤者
少なさ全国**1位**※2

仕事時間
5時間45分 短さ全国**5位**※1

帰宅時間
18:16 早さ全国**2位**※1

若者の就業率 | **完全失業率**
全国**1位**※3 | 低さ全国**1位**※2

自分らしく働きたい！
ワークライフバランスが大事！



くつろぎながら、
自分の生きがいのために
時間を使えます。
新鮮な食べ物や温泉も豊富で、
潤いのある暮らしが
満喫できます。

美肌ランキング
グランプリ獲得回数全国**1位**※4

睡眠時間
7時間53分 全国**5位**※1

住宅地価格 | **持ち家住宅の延べ面積**
安さ全国**7位**※5 | 全国**7位**※2

ボランティア活動
全国**3位**※1

交通事故発生件数、死傷者数
(人口10万人当たり) 少なさ全国**1位**※2

自然の中でゆっくり過ごしたい！
広い家でゆったり住みたい！



仕事をしながら
「子どもをもう1人育てたい」という
希望もかなえやすい環境です。
自家用車を持ちやすく、
通勤途中に保育所の送り迎えも
できるので、雨の日でも快適です。

育児をしている女性の有業率
81.2% 全国**1位**※6

合計特殊出生率
1.68 全国**3位**※7

保育所待機児童数 | **保育所数(10万人あたり)**
0人※8 | 全国**2位**※2

軽自動車普及率
(世帯あたり) 全国**4位**※9

一般診療所数
(人口10万人当たり) 全国**2位**※2

結婚・出産しても働き続けたい！
子どもをのびのび育てたい！

※1:H28社会生活基本調査 ※2:社会生活統計指標2021 ※3:H27国勢調査 ※4:美肌県グランプリ(POLA) ※5:R2都道府県地価調査 ※6:H29就業構造基本調査 ※7:R1人口動態統計 ※8:R2県調べ ※9:R1時点 全国軽自動車協会連合会

データの出典

	統計名	実施者	URL	県の担当窓口
1	社会生活基本調査	総務省	http://www.stat.go.jp/data/shakai/2016/index.html	統計調査課
2	社会生活統計指標	総務省	http://www.stat.go.jp/data/ssds/index.html	統計調査課
3	国勢調査	総務省	http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/index.html	統計調査課
4	美肌県グランプリ (POLA)	民間	https://www.pola.co.jp/special/bihadaken/	
5	都道府県地価調査	国交省	https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/totikensangyo_fr4_000044.html	用地対策課
6	就業構造基本調査	総務省	http://www.stat.go.jp/data/shugyou/2017/index.html	統計調査課
7	人口動態統計	厚生労働省	https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/81-1.html	健康福祉 総務課
8	保育所入所待機児童数	厚生労働省	https://www.pref.shimane.lg.jp/education/syoushika/kosodate/hoikusho/taikijidou.html	子ども・子育て支援課
9	全国軽自動車協会連合会	民間	https://www.zenkeijikyo.or.jp/statistics	

社会生活基本調査

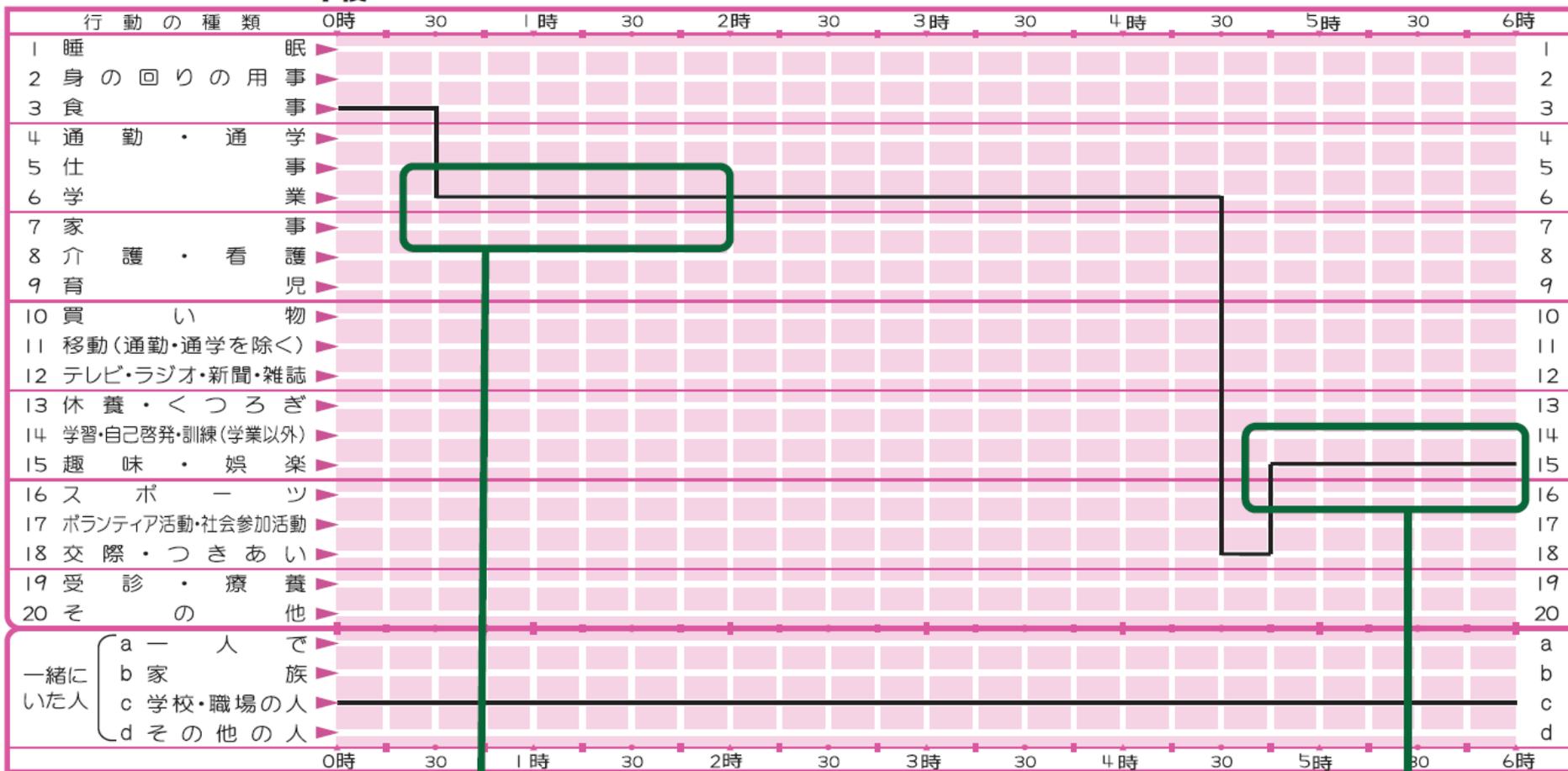
生活時間の配分・自由時間における主な活動を調査して、国民の社会生活の実態を明らかにし、各種行政施策の基礎資料に。

調査事項

- 生活時間の配分
 - 睡眠、食事、仕事、学習の時間など
- 過去1年間の余暇活動
 - 学習・自己啓発・訓練、ボランティア活動、スポーツ、趣味・娯楽、旅行・行楽

調査票A

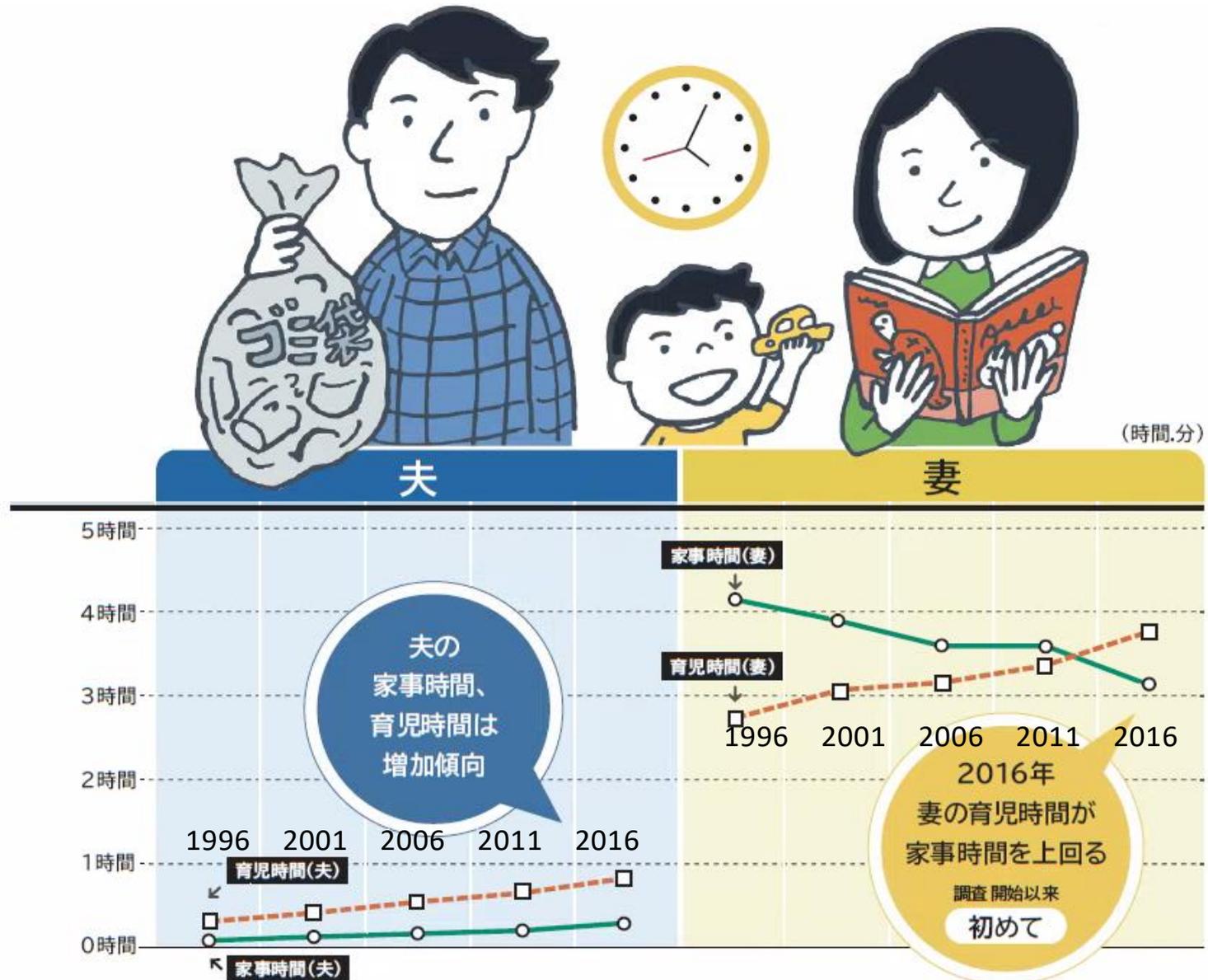
午後



図書館で授業の下調べ

サークル活動

6歳未満の子どもを持つ夫・妻の育児時間・家事時間



※1 該当する種類の行動をしなかった人を含む全員の平均時間

※2 「家事」「育児」の時間を分けて把握を開始した1986年調査以降

●資料：社会生活基本調査結果



スマートフォン・パソコンなどを 12時間以上使用した人は153万2千人

スマートフォン・パソコンなどを12時間以上使用した人の数(2016年)
一年齢階級別、週全体

スマートフォン・パソコンなど(スマートフォン以外の携帯電話、タブレット型端末を含む)の使用時間が12時間以上の人
は153万2千人で、使用した人のうち2.3%となっています。20~24歳では、使用時間が12時間以上
の人は38万4千人で、使用した人のうち**7.1%**と割合が高くなっています。



資料：社会生活基本調査結果



「ボランティア活動」の行動者率は26.0%で、5年前より0.3ポイント低下

「ボランティア活動」の年齢階級別行動者率(2016年)

「ボランティア活動」の行動者数^{※1}は2943万8千人で、行動者率^{※2}は26.0%となっています。行動者率を年齢階級別にみると、40～44歳が32.2%と最も高く、25～29歳が15.3%と最も低くなっています。2011年と比べると、10～14歳及び20～54歳で低下しています。



※1 行動者数とは、過去1年間(2015年10月20日～2016年10月19日)にボランティア活動を行った人(10歳以上)の数

※2 行動者率とは、当該属性人口に占める過去1年間にボランティア活動を行った人の割合

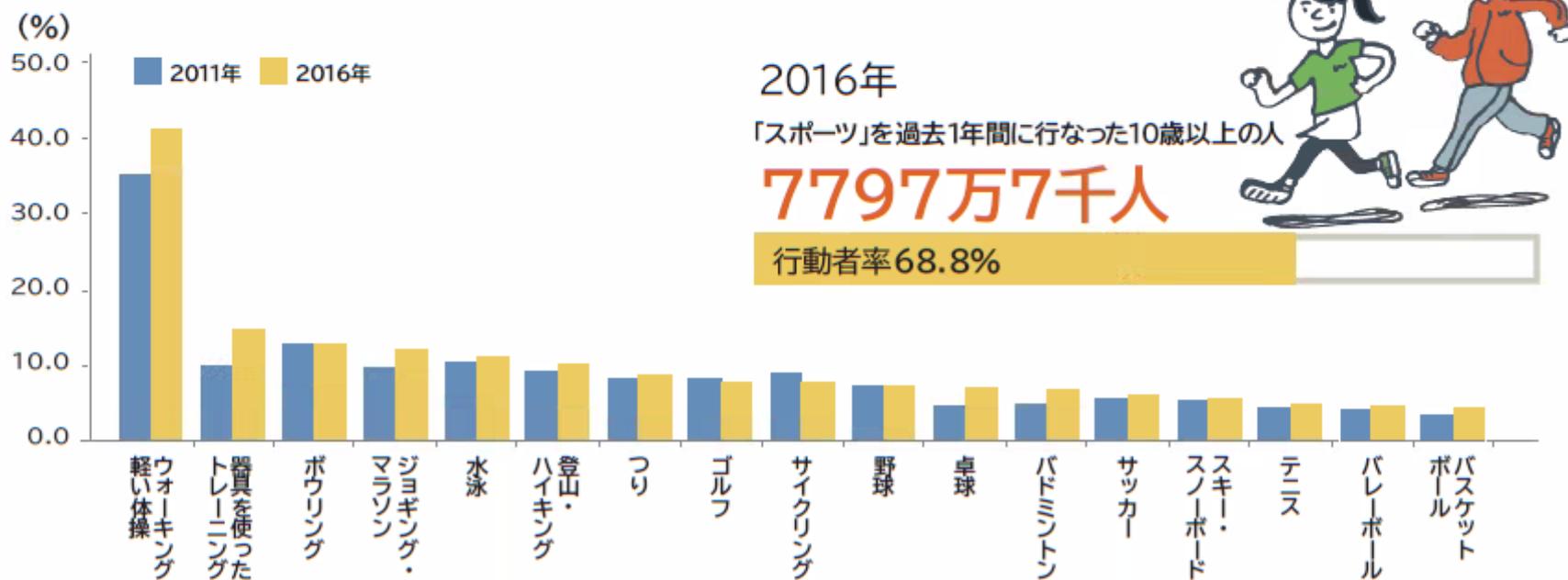
資料：社会生活基本調査結果

「ウォーキング・軽い体操」の行動者率が最も高い

「スポーツ」の種類別行動者率(2011年、2016年)

「スポーツ」を過去1年間(2015年10月20日~2016年10月19日)に行った10歳以上の人は7797万7千人で、行動者率は68.8%となっています。「スポーツ」の種類別に行動者率をみると、「ウォーキング・軽い体操」が最も高く、次いで「器具を使ったトレーニング」などとなっています。

2011年と比べると、「ウォーキング・軽い体操」、「器具を使ったトレーニング」、「ジョギング・マラソン」、「卓球」、「バドミントン」などで行動者率が上昇しています。



注1 行動者率が3%以上の種類を表章

注2 「スポーツ」には、クラブ活動や部活動は含むが、職業スポーツ選手が仕事として行うものや、児童・生徒・学生が体育の授業で行うものは除く。

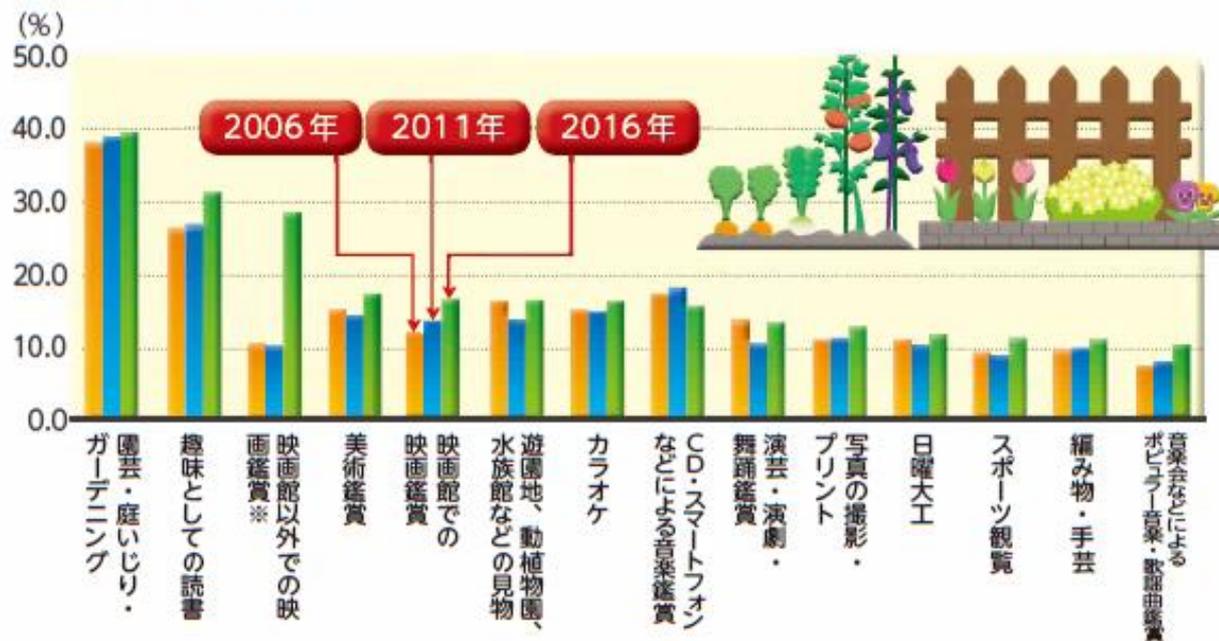
●資料：社会生活基本調査結果



高齢者の趣味・娯楽は「園芸・庭いじり・ガーデニング」が最も多い

「趣味・娯楽」の種類別行動者率（2006年～2016年）— 65歳以上

2016年（2015年10月20日～2016年10月19日）に何らかの「趣味・娯楽」を行った高齢者（65歳以上人口。以下同じ）は2433万人で、高齢者人口に占める割合（行動者率）は76.1%となっています。これを2011年と比べると4.0ポイント上昇しており、種類別では「園芸・庭いじり・ガーデニング」が最も高くなっています。



※ 映画館以外での映画鑑賞は、2006年及び2011年は「DVD・ビデオなどによる映画鑑賞（テレビからの録画は除く）」として調査、2016年は「映画館以外での映画鑑賞（テレビ・DVD・パソコンなど）」として調査しており、定義の変更があるため比較には注意を要する。

注 行動者率が10%以上の種類を表章
 行動者率とは、当該属性人口に占める過去1年間に当該種目の趣味・娯楽を行った人の割合

資料：社会生活基本調査結果

● 統計データを探す (政府統計の調査結果を探します)

その他の絞込

利用ガイド

すべて

政府統計一覧の中から探します

分野

17の統計分野から探します

組織

統計を作成した府省等から探します

キーワード検索: 例: 国勢調査

検索

● 統計データの高度利用

マイクロデータの利用

公的統計のマイクロデータの利用案内

開発者向け

API、LODで統計データを取得

● 統計関連情報

統計分類・調査計画等

● 統計データを活用する

グラフ

主要指標をグラフで表示
(統計ダッシュボード)

時系列表

主要指標を時系列表で表示
(統計ダッシュボード)

地図

地図上に統計データを表示
(統計GIS)

地域

都道府県、市区町村の
主要データを表示

基幹統計(53統計)をはじめ、国が作成する
各種統計を探すことができます。

1,864 件のデータ

データ種別

データベース 1,691

ファイル 1,864

政府統計名で絞り込み

社会生活基本調査 [1,864]

提供統計名で絞り込み

平成28年社会生活基本調査 [1,864]

統計分野（大分類）で絞り込み

組織で絞り込み

政府統計名で絞り込み

提供統計名で絞り込み

提供周期で絞り込み

データセット ▼ キーワードを入力

[検索オプション](#)

[検索のしかた](#)

提供分類、表題を検索 データベース、ファイル内を検索

社会生活基本調査 [詳細](#)

[一覧形式で表示](#)

社会生活基本調査は、統計法に基づく基幹統計調査として、生活時間の配分や余暇時間における主な活動（学習・自己啓発・訓練、ボランティア活動、スポーツ、趣味・娯楽及び旅行・行楽）を調査し、国民の社会生活の実態を明らかにするための基礎資料を得ることを目的として5年ごとに実施しています。

調査の結果は、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進、男女共同参画社会の形成など、国民の豊かな社会生活に関する各種行政施策に欠かすことのできない重要な資料となります。

平成28年社会生活基本調査	公開（更新）日
■ 調査の概要 [1件]	2017-07-14
■ 利用上の注意 [1件]	2018-02-14
■ 統計表ダウンロードにおける注意 [1件]	2017-09-15
■ 調査票 A に基づく結果 [1,568件]	
生活行動に関する結果 [896件]	
主要統計表 [50件]	2017-07-14
生活行動編（全国） [474件]	
学習・自己啓発・訓練 [100件]	2017-07-14

しまね統計情報データベース



分野別一覧

新着情報

- [2020/04/09] 統計制度の令和2年2月分を掲載しました。
- [2020/03/27] 市町村別情報を更新しました。
- [2020/03/27] 県標準推計人口(2.1)現況(推計)を更新しました。
- [2020/03/27] 2019年工業統計調査 島根県分結果(速報)を掲載しました。
- [2020/03/27] 毎月勤労統計調査(2)1月分を掲載しました。

すべての新着情報を見る

お知らせ

[2020/03/18] 3月18日(水)から「しまね統計情報データベース」はリニューアルしました。

[2020/07/21] 各担当課室にご挨拶をお願いします。

一覧を見る

今月の統計指標

島根県の推計人口

令和2年3月1日現在	
推計人口	計67万, 411人
男	323, 566人
女	346, 845人
前月比	0.49% ▼
自然増減	5.6人 ▼
社会増減	343人 ▼

鉱工業生産指数

今月指数(1月)	98.4	今月
前月指数	100.0	前月
前月比	1.0%	前月
前年同月比	7.4%	前年
全国	99.8	全国
中国地方	101.6	前月

< 平成27年=100 >

毎月勤労統計

令和2年1月<調査対象者人数上>	
定年まで完結する給与	221,049円
前年同月比	0.6% ▼

経済動向

総合指標	
島根県の経済は、一部に強い動きがみられるものの、	

人口・世帯

- ① 国勢調査
- ② 推計人口
- ③ 出生数
- ④ 海外県人口(ビザリオン)
- ⑤ 県別推計人口・世帯数

企業・事務所

- ① 経済センサス 基礎調査
- ② 経済センサス-活動調査
- ③ 事業所・企業統計調査

農林水産文

- ① 農林業センサス
- ② 漁業センサス

鉱工業・商文

- ① 鉱工業生産指数
- ② 工業統計調査
- ③ 商業統計調査

物産・統計・生活

- ① 消費生活指数
- ② 統計調査
- ③ 社会生活基本調査
- ④ 全国消費動向調査
- ⑤ 生活・土地統計調査

労働・労働

- ① 毎月勤労統計調査
- ② 労働力調査
- ③ 就業構造基本調査

教育・学校

- ① 学校基本調査
- ② 学校保健統計調査

経済・観光

- ① 県民経済計算
- ② 県民経済計算(四半期速報)
- ③ 市町村別経済計算
- ④ 県民経済計算(速報)
- ⑤ 観光客数(観光客)
- ⑥ 観光客数(観光客) 長期系列予 少
- ⑦ 観光客数

各担当グループ問い合わせ先

初めての方へ

- ### 刊行物・その他
- ① 県民経済計算
 - ② 毎月勤労統計
 - ③ 統計制度である県民のすがた
 - ④ グラフで見る県民のすがた～17分野の過去から現在～
 - ⑤ 統計である経済動向のすがた
 - ⑥ 統計である市町村のすがた

50音順検索

ホーム

総合情報

リンク集

統計ガイド

お問

[トップページ](#) ▶ [分野別一覧](#) ▶ [物価・家計・生活](#) ▶ [社会生活基本調査](#) ▶ 平成28年(2016)

平成28年(2016)

※閲覧したい資料をクリックして下さい。

年	概要	 エクセル	 PDF	その他
2016年(H28)	平成28年社会生活基本調査			
	社会生活基本調査結果の概要（生活行動）	-	 (932KB)	-
	社会生活基本調査結果の概要（生活時間）	-	 (514KB)	-
	社会生活基本調査結果の概要（生活時間）参考資料	-	 (887KB)	-

[2016年\(H28\)](#)

[2011年\(H23\)](#)

[2006年\(H18\)](#)

社会生活基本調査の結果の利用

- 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進
 - 仕事と生活の調和の実現状況
- 男女共同参画社会の形成
 - 男女の生活時間の比較、無償労働の把握
- 少子化・高齢社会対策
 - 高齢者介護や乳幼児保育の状況
- 労働経済の分析
 - 有業者の生活時間



47 社会生活基本調査から分かる 都道府県ランキング

平成28年に実施した社会生活基本調査の結果をもとに作成した都道府県ランキングをご紹介します。



1日の生活時間の使い方から

- [『睡眠時間たっぷり！？ランキング』 & 『早起き！？ランキング』 \(エクセル：38KB\)](#)
- [『夜更かし！？ランキング』 & 『通勤・通学時間が長い！？ランキング』 \(エクセル：38KB\)](#)
- [『なが～く働く！？ランキング』 & 『ゆう活！？ランキング』 \(エクセル：38KB\)](#)
- [『スマホ・パソコン大好き！？ランキング』 & 『メディアに夢中！？ランキング』 \(エクセル：38KB\)](#)

1年間の活動から

- [『ボランティア熱心！？ランキング』 & 『生スポーツ観戦が盛ん！？ランキング』 \(エクセル：37KB\)](#)
- [『山登りが人気！？ランキング』 & 『つり人が多い！？ランキング』 \(エクセル：37KB\)](#)
- [『泳ぐの大好き！？ランキング』 & 『スキー・スノボ大好き！？ランキング』 \(エクセル：37KB\)](#)
- [『ボウリングが人気！？ランキング』 & 『読書好き！？ランキング』 \(エクセル：37KB\)](#)
- [『園芸・ガーデニングが人気！？ランキング』 & 『裁縫が得意！？ランキング』 \(エクセル：37KB\)](#)
- [『旅行・行楽によく行く！？ランキング』 \(エクセル：36KB\)](#)

<http://www.stat.go.jp/data/shakai/2016/rank/index.html>

社会生活基本調査から分かる47都道府県ランキング (平成28年社会生活基本調査結果より)

【1日の生活時間の使い方から】

睡眠時間たっぷり！？ランキング		
順位	都道府県名	時間.分
	全国平均	7.40
1	秋田県	8.02
2	青森県	7.59
3	山形県	7.56
4	岩手県	7.54
5	島根県	7.53
5	宮崎県	7.53
	⋮	
	⋮	
45	神奈川県	7.33
46	千葉県	7.32
47	埼玉県	7.31

1日当たりの睡眠時間
(10歳以上、土日を含む週全体の平均)

通勤・通学時間が長い！？ ランキング		
順位	都道府県名	時間.分
	全国平均	1.19
1	神奈川県	1.45
2	千葉県	1.42
3	埼玉県	1.36
4	東京都	1.34
5	奈良県	1.33
	⋮	
43	青森県	0.58
43	秋田県	0.58
43	島根県	0.58
43	鹿児島県	0.58
47	大分県	0.57

1日当たりの通勤・通学時間
(10歳以上の「通勤・通学」をしている人、平日の平均)

社会生活基本調査から分かる47都道府県ランキング (平成28年社会生活基本調査結果より)

【1年間の活動から】

ボランティア熱心！？ランキング		
順位	都道府県名	行動者率 (%)
	全国平均	26.0
1	滋賀県	33.9
2	岐阜県	33.4
3	島根県	33.1
4	熊本県	32.7
5	佐賀県	32.6
5	鹿児島県	32.6
	⋮	
43	北海道	22.6
43	高知県	22.6
45	青森県	22.4
46	東京都	21.6
47	大阪府	20.6

過去1年間にボランティア活動をした人の割合(10歳以上)

つり人が多い！？ランキング		
順位	都道府県名	行動者率 (%)
	全国平均	8.7
1	長崎県	12.8
2	熊本県	12.0
3	島根県	11.8
4	広島県	11.7
5	山口県	11.6
	⋮	
	⋮	
43	東京都	6.9
43	神奈川県	6.9
45	埼玉県	6.8
45	長野県	6.8
47	福島県	6.5

過去1年間に「つり」をした人の割合(10歳以上)

統計のご案内

統計の概要

[統計の目的](#)[統計の沿革](#)[統計の作成方法](#) など

集計結果

[報告書](#)[データベース](#)

正誤情報

公表予定

Q&A

問合せ先

統計でみる都道府県・市区町村のすがた e-Stat

「都道府県・市区町村のすがた（社会・人口統計体系）※」で整備された各種統計データ（人口・世帯、自然環境、経済基盤、行政基盤、教育、労働、居住、健康・医療、福祉・社会保障など）から、地域・項目を抽出した統計表表示、グラフ表示、ダウンロード等を行なうことができます。

※社会・人口統計体系とは人口・世帯、自然環境、経済基盤、行政基盤、教育、労働、居住、健康・医療、福祉・社会保障など国民生活全般の実態を示す地域別統計データを収集・加工し、これを体系的に編成し整備したものです

市区町村の主要な統計データやグラフは統計ダッシュボードでもみることができます



※「都道府県・市区町村のすがた（社会・人口統計体系）」の結果のうち主要なデータについては以下の報告書にも取りまとめています。



社会生活統計指標-都道府県の指標-



統計でみる都道府県のすがた



統計でみる市区町村のすがた

		A. 人口・世帯		A Population and Households																					
		No. 1		No. 2		No. 3		No. 4		No. 5		No. 6		No. 7		No. 8		No. 9		No. 10		No. 11		No. 12	
		総人口		総人口(男)		総人口(女)		外国人人口 (人口10万人当たり)		全国総人口に占める 人口割合		総面積1km ² 当たり 人口密度		可住地面積1km ² 当たり 人口密度		昼夜間人口比率		人口集中地区人口比 率 (対総人口)		15歳未満人口割合 (対総人口)		65歳以上人口割合 (対総人口)		15歳以上人口割合 (対総人口)	
		Total population		Total population (Male)		Total population (Female)		Ratio of population of foreigners (per 100,000 persons)		Percentage distribution by prefecture		Population per 1 km ² of total land area		Population per 1 km ² of inhabitable area		Rate of day to night population		Ratio of DIDs (Densely Inhabited Districts) population		Ratio of population (under15 years old)		Ratio of population (65 years old and over)		Ratio of population (15 years old and over)	
		#A011000		#A0110001		#A0110002		#A01601		#A01101		#A01201		#A01202		#A01302		#A01401		#A03501		#A03503		#A03505	
		人：10 thousand persons		人：10 thousand persons		人：10 thousand persons		人：persons		%		人：persons		人：persons		%		%		%		%		%	
		2019		2019		2019		2015		2019		2019		2019		2015		2015		2019		2019		2019	
		指標値 Indicator		順位 Rank		指標値 Indicator		順位 Rank		指標値 Indicator		順位 Rank		指標値 Indicator		順位 Rank		指標値 Indicator		順位 Rank		指標値 Indicator		順位 Rank	
		年度		年度		年度		年度		年度		年度		年度		年度		年度		年度		年度		年度	
		都道府県		都道府県		都道府県		都道府県		都道府県		都道府県		都道府県		都道府県		都道府県		都道府県		都道府県		都道府県	
00	全国	12,617		6,141		6,476		1,378.8		100.00		338.3		1,028.8		100.0		68.3		12.1		28.4			
01	北海道	525	8	247	8	278	8	402.8	42	4.16	8	66.9	47	234.7	47	99.9	17	75.2	8	10.8	45	31.9	18		
02	青森県	125	31	59	32	66	31	263.5	47	0.99	31	129.2	41	385.8	43	99.8	24	46.6	25	10.7	46	33.3	7		
03	岩手県	123	32	59	31	64	32	392.1	43	0.97	32	80.3	46	330.4	45	99.8	24	31.9	44	11.1	43	33.1	8		
04	宮城県	231	14	113	14	118	14	539.4	30	1.83	14	316.7	19	730.9	26	100.3	5	64.1	14	11.8	29	28.3	38		
05	秋田県	97	38	45	39	51	38	284.8	46	0.77	38	83.0	45	301.5	46	99.8	24	35.0	40	8.8	47	37.2	1		
06	山形県	108	35	52	35	56	36	489.6	36	0.85	35	115.6	42	373.7	44	99.7	32	43.7	29	11.4	37	33.4	6		
07	福島県	185	21	91	20	93	21	455.8	40	1.46	21	133.9	40	437.7	42	100.2	6	42.6	32	11.4	37	31.5	21		
08	茨城県	286	11	143	11	143	12	1,416.2	12	2.27	11	469.1	12	719.4	28	97.5	40	38.2	36	11.9	25	29.5	33		
09	栃木県	193	19	96	17	97	20	1,342.0	15	1.53	19	301.8	22	648.4	30	99.0	37	45.2	27	12.1	23	28.6	37		
10	群馬県	194	18	96	19	98	18	1,881.6	3	1.54	18	305.2	21	852.0	18	99.8	24	39.9	34	11.9	25	29.8	30		
11	埼玉県	735	5	367	5	368	5	1,447.8	11	5.83	5	1,935.4	4	2,843.7	4	88.9	47	80.2	5	12.0	24	26.7	42		
12	千葉県	626	6	311	6	316	6	1,449.2	10	4.96	6	1,213.5	6	1,761.0	9	89.7	46	74.3	9	11.8	29	27.9	39		
13	東京都	1,392	1	685	1	708	1	2,801.0	1	11.03	1	6,344.8	1	9,792.9	1	117.8	1	98.4	1	11.2	41	23.1	46		
14	神奈川県	920	2	459	2	461	2	1,583.4	9	7.29	2	3,806.6	3	6,252.6	3	91.2	44	94.4	3	11.9	25	25.3	44		
15	新潟県	222	15	108	15	115	15	502.0	35	1.76	15	176.6	34	490.1	40	99.9	17	48.7	20	11.4	37	32.4	13		
16	富山県	104	37	51	36	54	37	1,009.8	20	0.83	37	245.8	25	566.5	38	99.8	24	37.8	37	11.4	37	32.3	14		
17	石川県	114	33	55	33	59	34	806.6	24	0.90	33	271.9	23	817.6	22	100.2	6	51.5	17	12.3	15	29.6	32		
18	福井県	77	43	37	43	39	43	1,200.9	19	0.61	43	183.3	31	712.9	29	100.0	13	44.0	28	12.6	11	30.6	25		
19	山梨県	81	42	40	41	41	42	1,331.2	16	0.64	42	181.6	32	849.8	20	99.2	36	31.2	46	11.7	33	30.8	24		
20	長野県	205	16	100	16	105	16	1,269.3	17	1.62	16	151.1	38	635.2	31	99.8	24	34.2	41	12.2	19	31.9	18		
21	岐阜県	193	17	96	17	102	17	1,741.3	4	1.57	17	187.1	30	898.6	16	96.1	42	38.2	35	12.8	12	30.1	28		
22	静岡県	364	10	180	10	185	10	1,610.6	8	2.89	10	468.5	13	1,325.4	11	99.8	24	59.9	15	12.3	15	29.9	29		
23	愛知県	755	4	378	4	377	4	2,220.3	2	5.99	4	1,459.9	5	2,527.1	5	101.4	4	77.5	7	13.1	7	25.1	45		
24	三重県	178	22	87	22	91	23	1,725.5	5	1.41	22	308.4	20	864.9	17	98.3	38	43.5	31	12.2	19	29.7	31		
25	滋賀県	141	26	70	26	72	26	1,407.4	13	1.12	26	352.0	15	1,081.7	14	96.5	41	49.7	18	13.8	2	26.0	43		
26	京都府	258	13	123	13	135	13	1,689.6	7	2.05	13	560.0	10	2,200.5	6	101.8	3	83.6	4	11.6	34	29.1	35		
27	大阪府	881	3	423	3	458	3	1,707.0	6	6.98	3	4,623.4	2	6,619.7	2	104.4	2	95.7	2	11.8	29	27.6	41		
28	兵庫県	547	7	261	7	286	7	1,400.6	14	4.33	7	650.6	8	1,964.1	7	95.7	43	77.7	6	12.3	15	29.1	35		
29	奈良県	133	29	63	29	70	29	639.6	29	1.05	29	360.3	14	1,554.6	10	90.0	45	64.8	12	11.9	25	31.3	22		
30	和歌山県	93	40	44	40	49	40	484.3	37	0.73	40	195.8	29	829.5	21	98.2	39	37.2	38	11.6	34	33.1	8		
31	鳥取県	56	47	27	47	29	47	590.1	31	0.44	47	158.5	37	617.2	34	99.9	17	37.0	39	12.5	12	32.1	16		
32	島根県	67	46	33	46	35	46	773.5	25	0.53	46	100.5	43	518.9	39	100.1	11	24.2	47	12.3	15	34.3	3		
33	岡山県	189	20	91	21	90	19	900.8	22	1.50	20	265.7	24	851.8	19	100.0	13	46.7	24	12.5	12	30.3	26		
34	広島県	280	12	136	12	144	11	1,225.5	18	2.22	12	330.7	17	1,213.3	13	100.2	6	64.5	13	12.8	9	29.3	34		
35	山口県	136	27	65	27	71	27	819.5	23	1.08	27	222.2	28	795.6	24	99.6	33	49.2	19	11.6	34	34.3	3		
36	徳島県	73	44	35	44	38	44	512.2	34	0.58	44	175.6	35	720.6	27	99.6	33	32.7	42	11.2	41	33.6	5		
37	香川県	96	39	46	39	49	39	709.6	28	0.76	39	509.4	11	950.7	15	100.2	6	32.6	43	12.2	19	31.8	20		
38	愛媛県	134	28	63	28	71	28	584.4	32	1.06	28	235.9	27	800.3	23	100.0	13	52.9	16	11.8	29	33.0	10		
39	高知県	70	45	33	45	37	45	444.3	41	0.55	45	98.3	44	600.2	36	99.9	17	43.5	30	11.1	43	35.2	2		
40	福岡県	510	9	242	9	269	9	923.2	21	4.05	9	1,023.6	7	1,848.3	8	100.1	11	72.4	10	13.1	7	27.9	39		
41	佐賀県	82	41	39	42	43	41	465.6	39	0.65	41	333.9	16	610.2	35	100.2	6	31.4	45	13.5	3	30.3	26		
42	長崎県	133	30	62	30	70	30	556.9	33	1.05	30	321.2	18	792.2	25	99.8	24	48.0	21	12.7	10	32.7	12		
43	熊本県	175	23	83	23	92	22	467.9	38	1.39	23	235.9	26	625.1	33	99.5	35	47.8	22	13.3	4	31.1	23		
44	大分県	114	34	54	34	60	33	742.2	27	0.90	34	179.0	33	630.9	32	99.9	17	47.2	23	12.2	19	32.9	11		
45	宮崎県	107	36	51	37	57	35	334.5	45	0.85	36	138.7	39	580.0	37	99.9	17	46.1	26	13.3	4	32.3	14		
46	鹿児島県	160	24	75	24	85	24	354.8	44	1.27	24	174.4	36	483.6	41	99.9	17	40.2	33	13.3	4	32.0	17		
47	沖縄県	145	25	72	25	74	25	768.7	26	1.15	25	637.0	9	1,242.9	12	100.0	13	67.8	11	16.9	1	22.2	47		

「統計でみる都道府県のすがた2021」にみる島根県

分野	項目	指標値	単位	年度	順位	注
A. 人口・世帯	1 総人口	67	万人	2019	46	
	2 総人口〔男〕	33	万人	2019	46	
	3 総人口〔女〕	35	万人	2019	46	
	4 外国人人口 (人口10万人当たり)	773.5	人	2015	25	
	5 全国総人口に占める 人口割合	0.53	%	2019	46	
	6 総面積1km ² 当たり 人口密度	100.5	人	2019	43	
	7 可住地面積1km ² 当たり 人口密度	518.9	人	2019	39	
	8 昼夜間人口比率	100.1	%	2015	11	
	9 人口集中地区人口比率 (対総人口)	24.2	%	2015	47	
	10 15歳未満人口割合 (対総人口)	12.3	%	2019	15	25

「統計でみる都道府県のすがた2021」にみる島根県

	分野		項目	指標値	単位	年度	順位	注
D	行政基盤	132	教育費（人口1人当たり） （都道府県・市町村財政合計）	194.2	千円	2018	1	
D	行政基盤	139	幼稚園費（児童1人当たり） （都道府県・市町村財政合計）	966.1	千円	2018	1	
E	教育	142	高等学校数 （15～17歳人口10万人当たり）	229.5	校	2019	1	
E	教育	157	公立幼稚園在園者比率 （対幼稚園在園者数）	88.4	%	2019	1	
E	教育	172	各種学校数 （人口10万人当たり）	4.3	校	2019	1	
I	健康・医療	305	妊娠，分娩及び産じょくによる死亡率 （出産数10万当たり）	21.3	—	2019	1	
I	健康・医療	335	保健師数 （人口10万人当たり）	79.3	人	2018	1	
I	健康・医療	337	救急自動車数 （人口10万人当たり）	11.6	台	2019	1	
J	福祉・社会保障	352	介護老人福祉施設数 （65歳以上人口10万人当たり）	40.3	所	2018	1	

「統計でみる都道府県のすがた2019」にみる島根県

	分野		項目	指標値	単位	年度	順位	注
A	人口・世帯	15	従属人口指数 ((年少+老年人口)÷生産年齢人口×100)	85.1	—	2017	1	
D	行政基盤	133	社会教育費(人口1人当たり) [県・市町村財政合計]	28	千円	2016	1	
D	行政基盤	138	特別支援学校費<公立>(児童・生徒1人当たり) [県・市町村財政合計]	11,678.00	千円	2016	1	
D	行政基盤	139	幼稚園費(児童1人当たり) [県・市町村財政合計]	759.3	千円	2016	1	
E	教育	142	高等学校数(15~17歳人口10万人当たり)	229.5	校	2017	1	
E	教育	156	公立幼稚園在園者比率(対幼稚園在園者数)	86.7	%	2017	1	
E	教育	171	各種学校数(人口10万人当たり)	4.23	校	2017	1	
E	教育	176	小学校教育費(児童1人当たり)	1,396,369	円	2015	1	
E	教育	178	高等学校教育費[全日制](生徒1人当たり)	2,251,432	円	2015	1	
G	文化・スポーツ	225	女性学級・講座数(女性人口100万人当たり)	4,824.20	学級・講座	2014	1	
G	文化・スポーツ	226	高齢者学級・講座数(人口100万人当たり)	1,224.60	学級・講座	2014	1	
H	居住	244	借家住宅の延べ面積(1住宅当たり)	54.5	m ²	2013	1	
I	健康・医療	335	救急自動車数(人口10万人当たり)	11.4	台	2017	1	
J	福祉・社会保障	351	介護老人福祉施設 (65歳以上人口10万人当たり)	36.1	所	2017	1	
K	安全	382	消防機関出動回数 (人口10万人当たり)	4,856.70	回	2016	1	27

2019年2月11日 日本経済新聞 「データでみる地域」

データで見る地域

女性学級・講座数

女性の社会進出に伴い、自主的な学びを通してキャリアアップや自己啓発を目指す女性が増えている。総務省統計局の「統計でみる都道府県のすがた2018」（データは文部科学省の14年度調査より）によると、公民館や教育委員会などが主催する女性対象の学級・講座数を人口比でみた場合、都道府県によって大きな差がある。

一般教養や健康、趣味などの女性学級・講座数が女性の人口100万人あたりで最も多かったのは島根県の4824.2で、福井県が4100.5で続く。最少は東京都の9.6で、人口が多い首都圏や関西圏の都府県は下位を占める。

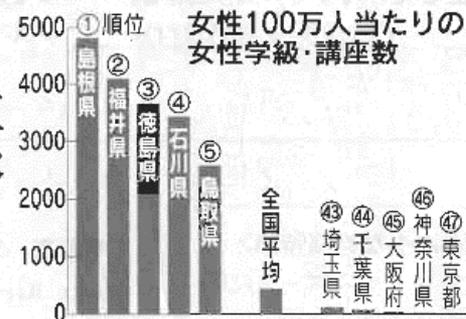
島根で女性学級・講座が盛んな一因として、就業する女性の多さが挙げら

人口当たり島根首位 職住近く時間に余裕

れる。総務省の17年「就業構造基本調査」によると、島根県の就業女性の比率（有業率）は働き盛りの35～39歳で全国トップだ。「自宅と職場が近く通勤時間が短い上、母親と同居する人が多く、女性が勤務時間外に学びやすい環境がそろっている」（県男女共同参画室の原圭子室長）

福井も女性有業率が2位。「三世代同居や共働きが多く、地域・家庭・学校の相互のつながりが強い」（県教育庁教育政策課）という。

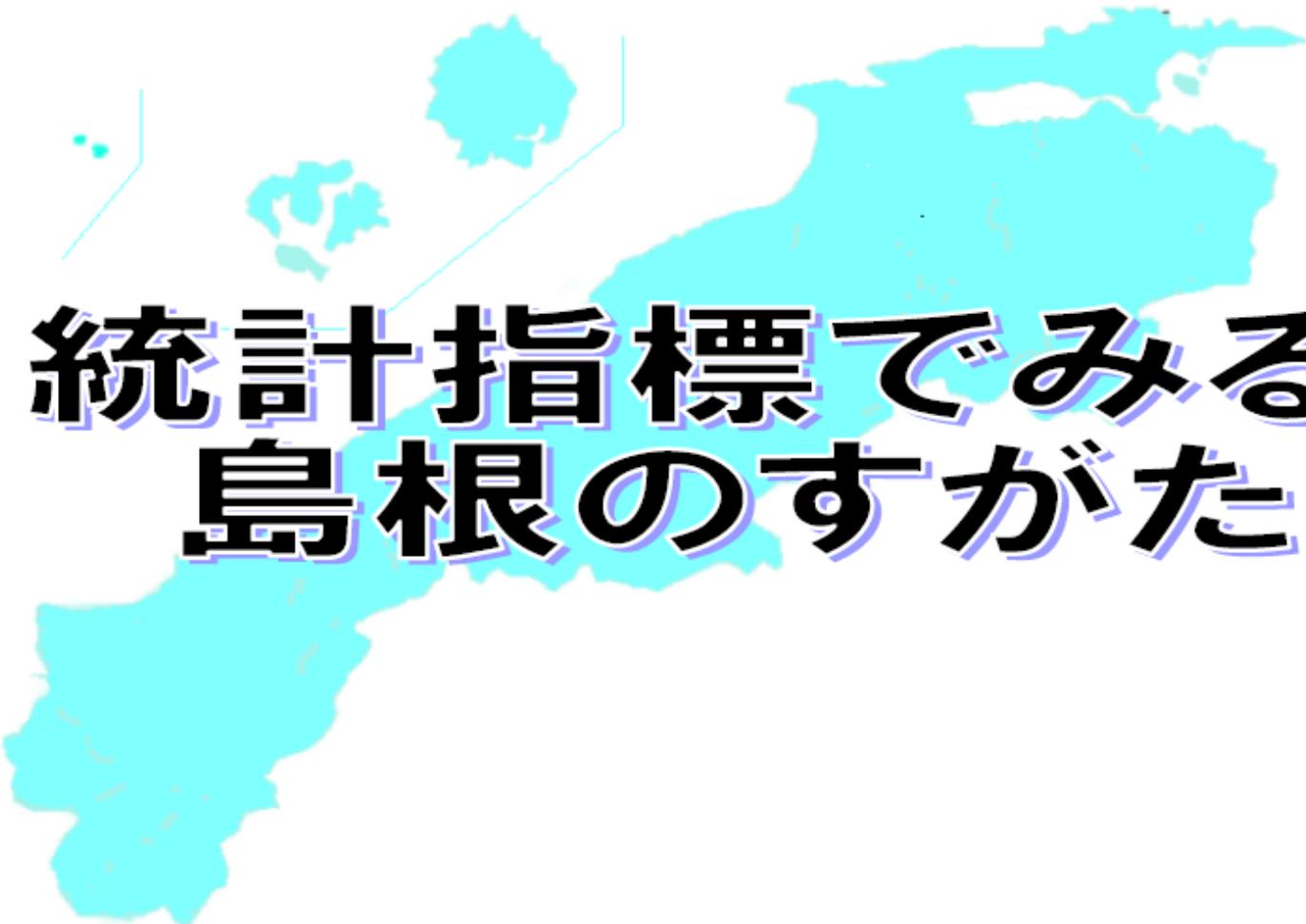
島根では女性学級・講座の会場とな



（注）総務省「統計でみる都道府県のすがた2018」より文部科学省の2014年度「社会教育調査」に基づくデータ。公民館などで一定期間に組織的・継続的に行われたもの

る公民館の数も300を超え、活発に活動している。人口減や少子高齢化で地域の活力が徐々に失われているとの危機感を背景に、県は07年度から全国でも珍しい公民館支援事業を展開。地域の課題解決につながる活動をする公民館に補助金を出す。

島根県でも独自のランキングを作成・公表しています。

A light blue map of Shimane Prefecture is shown in the background. The title text is overlaid on the map.

統計指標でみる 島根のすがた

しまね統計情報データベース

<http://pref.shimane-toukei.jp/>

統計利用の注意点

統計づくりの大きな流れ

問題
発見



分析



実行
表現

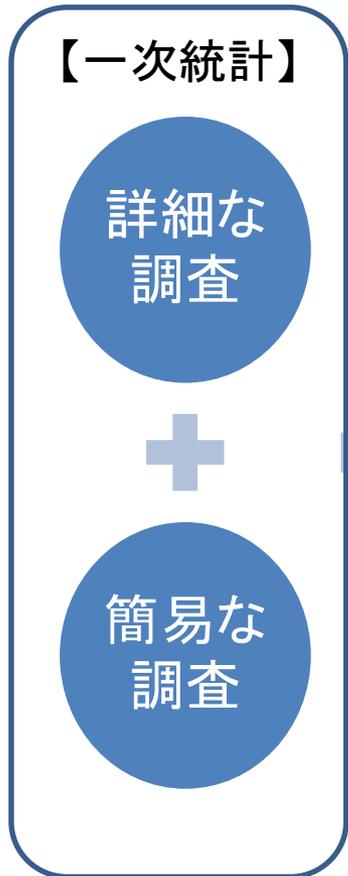
「先生が言っているから」といって、
鵜呑みにしない。

- 自分の目で、データを確認しよう。
- 自分の頭で、データから考えよう。
 - 現実と結びつけて考えよう。

I 調査結果を眺めよう

- 調査結果は、県や国など、いろいろなところで公表されている。
- データの結果を見れば、調査結果の使い方や意義などを確認できる。
- より深い分析を行えば、新たな発見や将来の指針に気づくこともできる。

統計の区分



【一次統計】

- 詳しい調査で構造を把握
 - 全数調査等
- 簡易な調査で動きを把握
 - 標本調査等

【加工統計】

- 両者を組み合わせて、全体の動きを知る

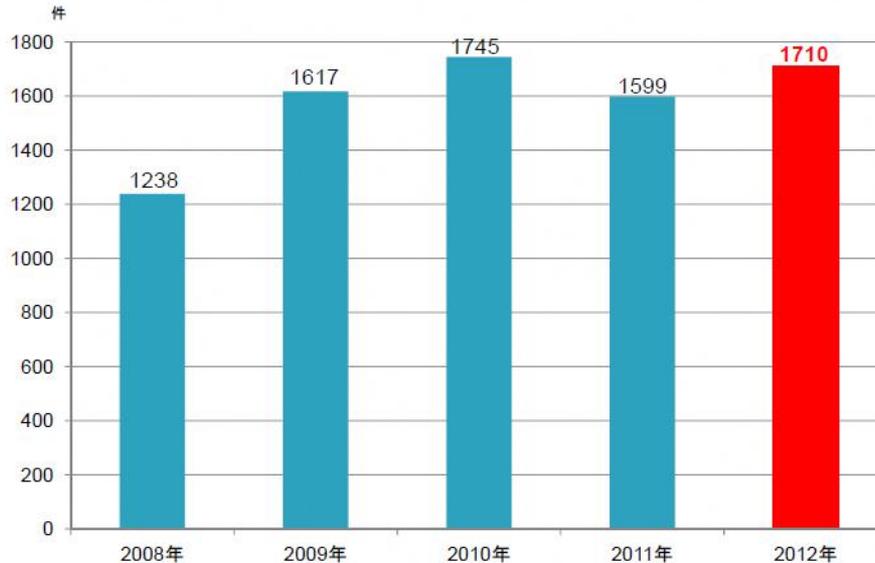
⇒なるべく複数のデータをチェックしよう

注意すること(1)

「実数」と「割合」の両方に注意

鳥衝突件数(2008年-2012年)

国土交通省



- バードストライクが100件ほど増えているが...
(飛行機に鳥が衝突することによる事故)

- 離着陸回数全体が大きく増えているため単純比較は無理
- 割合はほぼ同じかやや減少

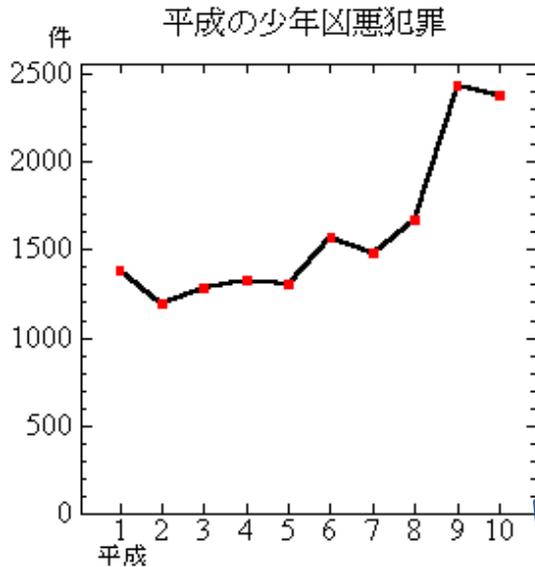
国交省HPより

http://www.mlit.go.jp/koku/koku_fr15_000015.html

	2011年	2012年	増減
鳥衝突件数	1,599	1,710	111
ニアミス報告件数	344	512	168
離着陸回数	2,080,552	2,244,264	163,712
発生空港不明件数	347	295	▲52
航空機損傷事案	59	48	▲11

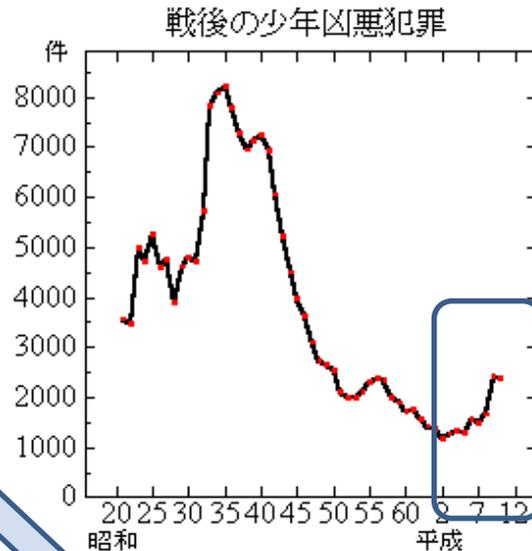
注意すること(2)

比べる範囲に注意



少年凶悪犯罪のデータ

- 一見、最近、凶悪犯罪が急増しているように見えるが...

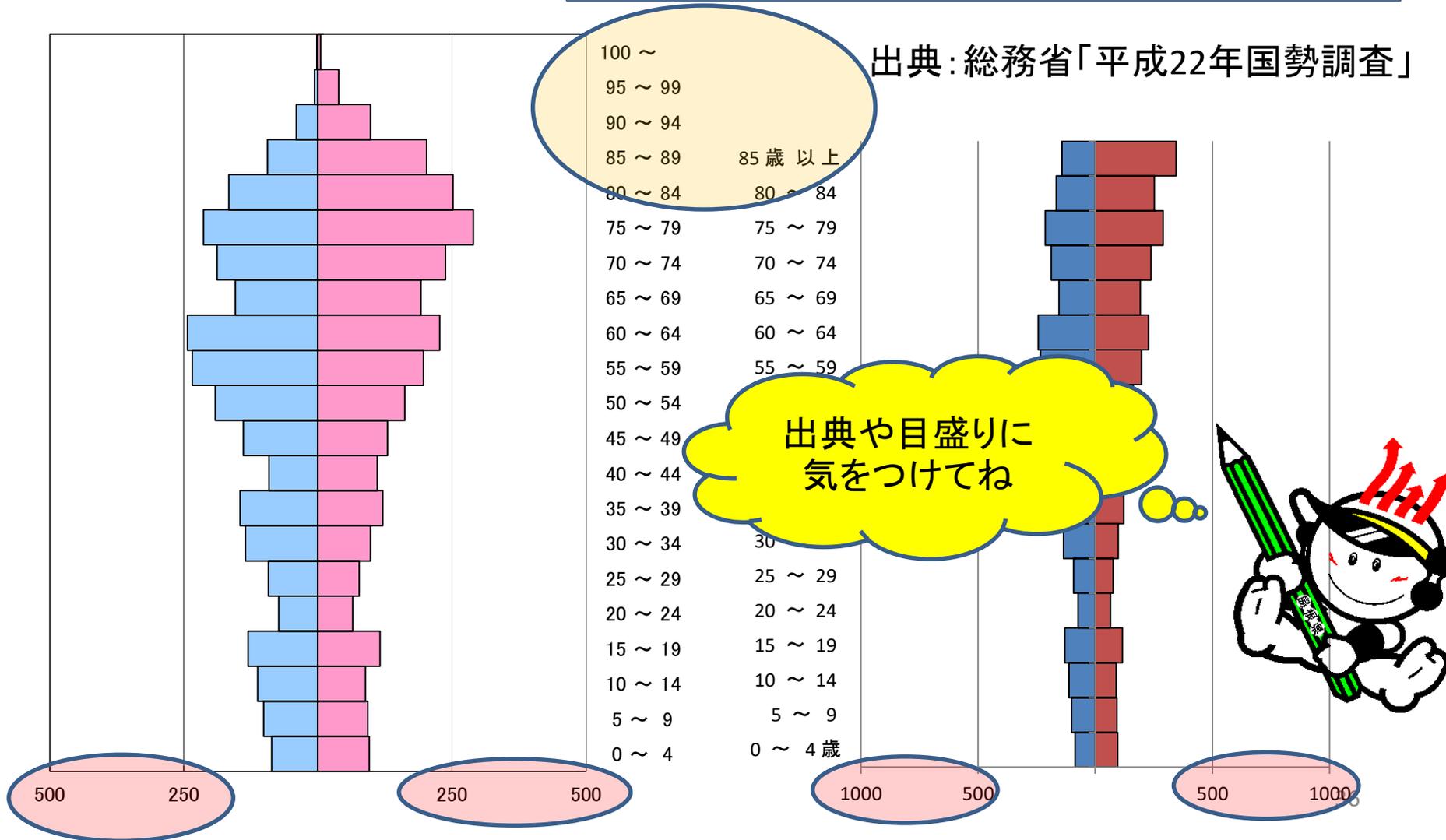


- 実は最近の変化だけを拡大したもの。

注意すること(3)

見せ方に注意

同じ平成22年の人口ピラミッドでも、区分を変えるだけで、印象がまったく変わります。



統計を見たり、使ったりするときの注意

1. 表題をよく読む
2. 頭注・脚注・資料出所などをよく見る
3. 単位を確かめる
4. 比率については、何を何で割ったものかをよく調べる
5. 指数については、基準に十分注意する
6. 平均だけでなく、散らばりもよく調べる
7. 相関関係が強いからといっても、一方が他方の原因であるとすぐに決めない
8. 標本の選ばれ方が無作為であるかないかに注意する
9. 統計グラフを見誤らない

「統計のウソを見破る五つのカギ」

- 誰がそうしているのか（統計の出所に注意）
 - 調査ソースがしっかりしていても、誰がコメントしているか、全面的に支持できるかを確認。
- どういう方法でわかったのか？（調査方法に注意）
 - どんなサンプルに対する調査か。回収率（回答率）はどれくらいあるか。
- 足りないデータはないか？（隠されている資料に注意）
 - 母数はいくつで、何と比較しているか。単なる相関関係を因果関係と思い込んでいないか。
- いっていることが違ってやしないか？
（問題のすり替えに注意）
 - 関係ないものと比較していないか。
- 意味があるかしら？（どこかおかしくないか？）
 - 数字と現実とがずれていないか。数字が正確すぎないか。

II 調査結果を表現しよう

1 データを集める前に

まず、言いたいことを決めましょう。

言いたいことにあわせた資料集めが効率的。
「とりあえずデータを集めれば何か言えるだろう」では、
時間も手間も無駄が多くなってしまいます。



データが集まれば

- 過去との比較や、他地域などと**比較**することができます。
- ものごとの特徴や、相互の関係がわかります。
- その結果から、言いたいことを、よりわかりやすくすることができます。

統計を作るときの注意

1. 「調査のめあて」をはっきりさせる。
何のために、どういうことを知りたいかということをお初めにはっきりさせる。
2. 「調査の相手」をはっきりさせる。
何を調べるのかをはっきりさせることはもっと大切なこと。このとき、調査する時間や場所もはっきりさせなければなりません。
3. 「調査の方法」をはっきりさせる。
 - ① 調査票を家に持って帰って、家の人に書いてもらうか、自分で記入するか。
 - ② 自分たちで観察・実験・調査し、記録するか。
 - ③ 直接相手に会って聞き取り、調査票に記入するか、相手に記入してもらって、後で集めるか。
 - ④ すでにできている記録を集めるか。
4. 「どういうことを調査するか」をはっきりさせる。
調査の目当てや調査の方法などと考え合わせながら決めます。
5. **統計材料を集め、それを分類整理して集計し、統計表やグラフに表す。**
このとき注意しなければならないこと
 - ① 調査のめあてに合った分類を考え、集計表を作る。
 - ② どのような手順で集計したら早く正しくまとめることができるかを、あらかじめ考えておく。
 - ③ 調査の結果を正しくわかってもらうためにはどのような統計表やグラフを作ったらよいか考える。

3 統計情報のまとめ方

統計表と統計グラフの長所と短所

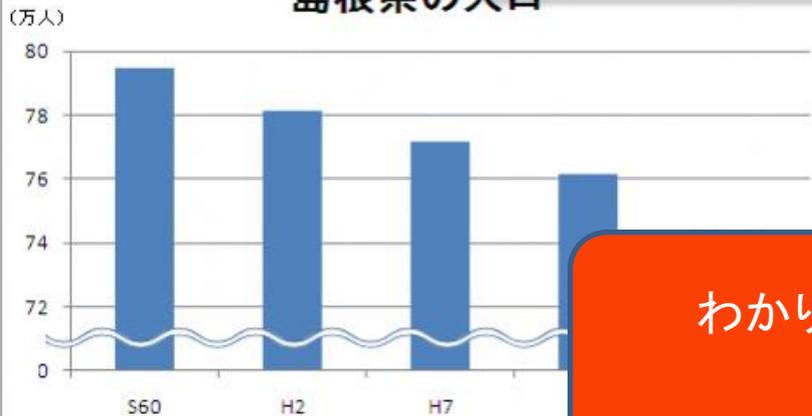
	長 所	短 所
統計表	<ul style="list-style-type: none">○ 数字を詳しく表せる。○ 狭いスペースに、かなり多くのことが書ける。○ 慣れてくると、いろいろな内容・関係がわかる。	<ul style="list-style-type: none">○ 全体の特徴や傾向をつかみにくい。○ 簡単に書けるが、すぐには理解しにくい。
統計グラフ	<ul style="list-style-type: none">○ ひと目で全体の様子がわかる。○ 工夫すれば、だれにでもわかりやすく親しみやすい。	<ul style="list-style-type: none">○ おおよその数しか表せない。○ 情報の全部を一つの図には表せない。○ 作成に手間や時間がかかる。

4グラフのいろいろ

棒グラフ

数値を単純に比較
時間的変化を示す

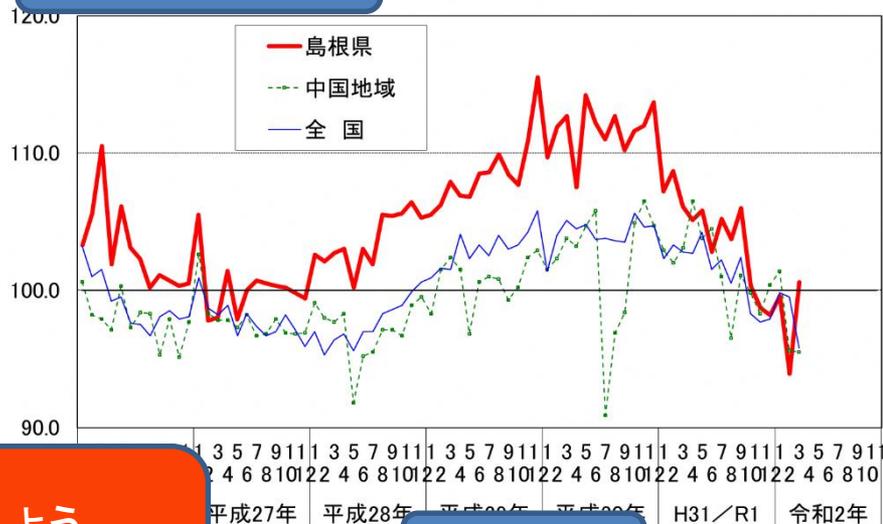
島根県の人口



わかりやすくなるよう
工夫を

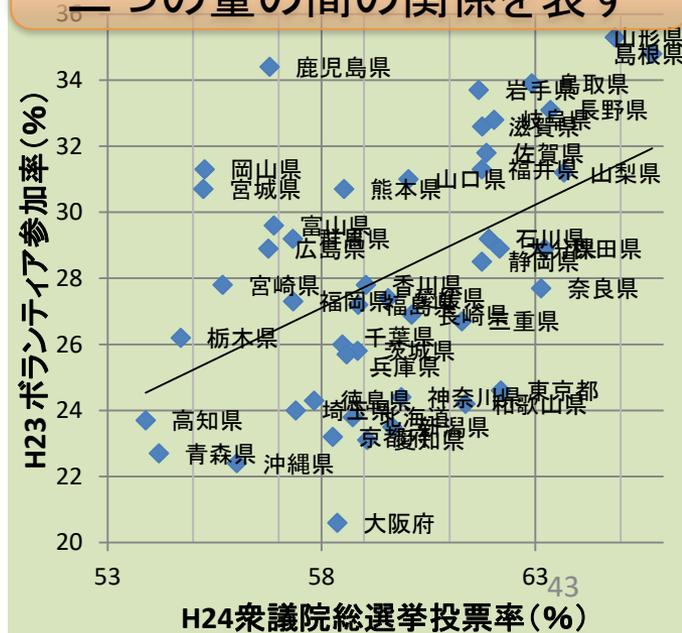
折れ線グラフ

時間的変化を示す



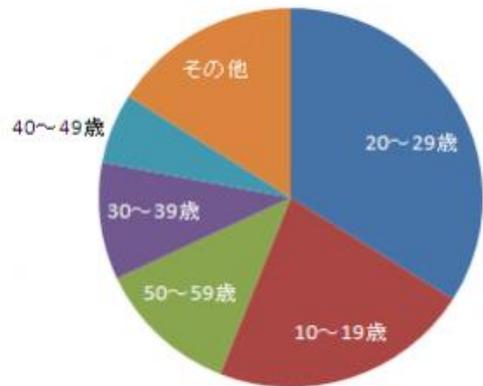
点グラフ

数値を単純に比較
二つの量の間の関係を表す



円グラフ

集団の質的構造を表す



統計地図

地域的分布をしめす



目的別にみた主なグラフの表現

	比較	内訳	推移	相関	分布
棒グラフ	◎	○	○	△	△
ヒストグラム					○
帯グラフ	○	◎	○		
円グラフ	○	◎			
折れ線グラフ	△		◎		
レーダーチャート	◎	○	○		
散布図(点グラフ)			○	◎	◎
統計地図			○		○
箱ひげ図	○				○

統計解析へ

説明変数(X) × 目的変数(Y)	適したグラフ	発展形の例
質 × 質	積み上げ棒グラフ	分割表の独立性の検定
質 × 量	層別の箱ひげ図、 層別のヒストグラム	平均の差の検定、 分散分析
量 × 量	散布図	回帰分析、重回帰 分析
量 × 質	散布図(ただしYは 離散)	ロジスティック回帰 分析

Ⅲ. 統計データ分析にかかるコンペ

- 統計グラフコンクール
- 統計データ分析コンペティション(SSDSE)
- スポーツデータ解析コンペティション
- 地方創生★政策アイデアコンテスト

令和3年度 島根県統計グラフコンクール

作品募集！

島根県では、統計知識の普及と統計の表現技術の研さんのため、県内の小学生、中学生、高校生、大学生及び一般から統計グラフを募集します。

疑問に感じていることや不思議に思っていることはありませんか？それを自分なりに調べてグラフにまとめてみよう！！意外な発見があるかも。たくさんのご応募お待ちしております。

応募資格：島根県に在住、在学、在勤する人

第1部～第4部 小中学校の児童・生徒

第5部：高等学校以上の生徒・学生・一般

パソコン統計グラフの部：小学校の児童以上

課 題：自由

規 格：B2判(仕上げ寸法72.8cm×51.5cm)

募集期間：令和3年7月12日(月)～9月8日(水) 必着

入賞区分：特選・入選・佳作・努力賞・学校奨励賞

入賞発表：9月下旬

テーマはなんでも
OK！
あなたの作品をお待
ちしています！！



島根県の募集要領などは

<https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/pref/toukei/kyoukai/graphconcours/>

県優秀作品は全国コンクールに

<https://www.sinfonica.or.jp/tokei/graph/index.html>

統計グラフコンクールの審査基準

ア 共通基準

①誤りはないか

目盛り、単位の取り方、文字・数字、脱字、記入漏れ

②書き落としはないか

資料の出所、観察・調査の方法

③的確か

見出し(主題)の表現、配色

イ 部別基準(該当部分)

①統計データを正しく理解してグラフ化することによって、データの持つ事象が理解されやすくなるように工夫されているか。

②訴えたい主題が的確にグラフに表れているか。また、主題は斬新で興味を喚起するものであるか。

③パソコン統計グラフの部では、パソコンの機能を十分に活用したものであるか。

統計データ分析コンペティション (SSDSE)

- 総務省統計局、(独法)統計センター、統計数理研究所、(一財)日本統計協会の共催
- 優秀作品には、総務大臣賞をはじめ各賞が授与。
受賞論文は統計専門誌に掲載
- ウェブサイトに過去の優秀作品あり

<https://www.nstac.go.jp/statcomppe/>



総務省統計局 独立行政法人 統計センター 統計数理研究所 日本統計協会

統計データ分析 コンペティション 2021

高校生、大学生等の皆さんの統計分析における
アイデアと技術を競います

論文募集

エントリー期間
令和3年5月10日(月)
~8月10日(火)

論文締切
[大学生・一般の部]
令和3年9月1日(水)
[高校生の部]
令和3年9月10日(金)

最優秀作品には
総務大臣賞と副賞
が贈られます
このほか、受賞論文が
専門誌等に掲載されます

第4回統計データ分析コンペティション
詳細は、下記ウェブサイトをご覧ください。
<https://www.nstac.go.jp/statcomppe/>



スポーツデータ解析コンペティション

- 日本統計学会スポーツ統計分科会の主催、データスタジアム株式会社などが協賛
- 実際のスポーツデータを使って分析
- 高校生向けコンペは一般とは別に開催。2020年は、野球、サッカー、フェンシング、ゲートボール、卓球がテーマ。
- 前回の最優秀賞はバスケットボールの分析
 - <https://estat.sci.kagoshima-u.ac.jp/SESJSS/sports09.htm>
(前回の中等教育の部の優秀作品)
 - <https://estat.sci.kagoshima-u.ac.jp/sports/compe10.htm>
(一般向けの募集要領)

地方創生★政策アイデアコンテスト

- 主催は内閣府地方創生推進室、経済産業省が共催
- 地域経済分析システムRESASを活用した地域課題の分析を踏まえた、地域を元気にするような政策アイデアを募集するコンテスト。
- 優秀作品には各種表彰あり。
- 過去の優秀作品も掲載

<https://contest.resas-portal.go.jp/>



地方創生
★
政策アイデア
コンテスト
2020

あなたが見出す、または、中身のあふれる地域の現状・課題について地域経済分析システム（RESAS）等を使って分析し、政策アイデアをご提案ください。

アイデア求む！
まずは
RESAS
地域経済分析システム
を検索!!!

応募期間
2020年7.14（火）▶10.9（金）

募集区分
高校生・中学生以下の部 / 大学生以上一般の部 / 地方公共団体の部

募集アイデアの例

- 新型コロナウイルスにより受けたダメージを〇〇で回復する
- 地域の人口減少・少子高齢化を〇〇で解決する
- 地域の観光客を、またもに受け入れる〇〇で増やす
- 地域の〇〇産業を〇〇で活性化させる
- 地域経済を〇〇で元気にする
- アリアを活用して、地域の魅力を伝える

賞状

各部門それぞれで地方創生推進大臣賞、優秀賞等を授与

最終審査会

日時：2020年12月20日（土）
場所：中央合同庁舎第5号館（講堂）（内閣府）
※状況に応じて変更される場合がございます。

※応募の詳細、受付はこちらから

地方創生 政策アイデアコンテスト

IV. 統計を作るヒント

わかりやすいグラフにしよう

- 書き込みしすぎたり、意味のない飾り(立体化など)はつけない。
- 基点は0にしよう(特に棒グラフ)。
- 意味のある比較をしよう。
- 目的に合ったグラフを選ぼう。

問題解決のステップが参考になる!

step I : 現象

現象を正しくとらえる

step II : 因果・メカニズム

その現象の因果・メカニズムを究明し原因を特定する

step III : 対策

特定した原因への対策を講ずる

大切なのは役に立つこと

数学的分析だけでは問題は解決できない

- **問題を見つける力(問題発見力)**
 - 現場にも足を運んで、いろいろな経験を
- **問題を解く力(分析力)**
 - 数学的な分析
- **結果を使わせる力(実行・表現力)**
 - プレゼンや具体化の力
 - KKD(勘・経験・度胸)も大事

分析者9ヶ条

1. ビジネスの現場に出よう。
2. 整理整頓を心がけよう。
3. なぜ? なぜ? なぜ?
4. データをビジュアル化しよう。
5. 他人のデータを疑おう。
6. simple is better
7. ざっくり計算。
8. 文章を書こう。
9. うまくいかなければ、目的に立ち返ろう。

まとめ 統計とは

- 統計とは、暮らしの中のできごとを数字で表したものの。
 - 全体のことをまとめた数字。
 - 時間的な変化をとらえたり、地域間の違いを比べることができます。
 - ものごとの特徴や相互の関連を明らかにできます。
- 大切なことは、統計を利用して何かを考え、その考えをもとにして、暮らしをよくしようとして計画を立てることです。

(島根県「やさしい統計のはなし」より)

まとめ 「だから、統計は必要です！」

★ 社会を「見える化」するために欠かせない手段

① 「今」をとらえる。

→ その「集団」は、今、どんな状況なのか？

② 「過去」と比べる。

→ 調査により分かった結果を、どう評価するのか？

→ 問題になったときだけ調べても真実は見えない。

③ 「他の地域」と比べる。

→ 調査結果を、他と比べてどう評価するのか？

④ 「将来」を予測する。

→ 調査結果をもとに、将来を推計してどう対処していくのか？

★ 統計調査は、「税金のむだ遣い」ではない。

→ 税金を有効活用するための先行投資

★ 統計調査に回答することは国民の義務

→ 無意識の社会貢献（基幹統計への回答は法的には、義務）



統計の結果を地元で使えるように

- 統計調査は、行政にとって地域の実情を知る数少ない貴重な機会
 - データが不正確だと地域ごとに結果を出せない。



- 自らの地域で使えるように、正確な調査を。
 - 自分たちが使えない調査では誰も協力しません。
 - 日頃から信頼を築き、地域をよくするための協力を。
- 取ったデータの結果を日頃から眺めて、新たな発見や使い道を。
 - 起業やUターン、地域おこしなどにつなげることも。

(参考) 今年度の主な経常調査

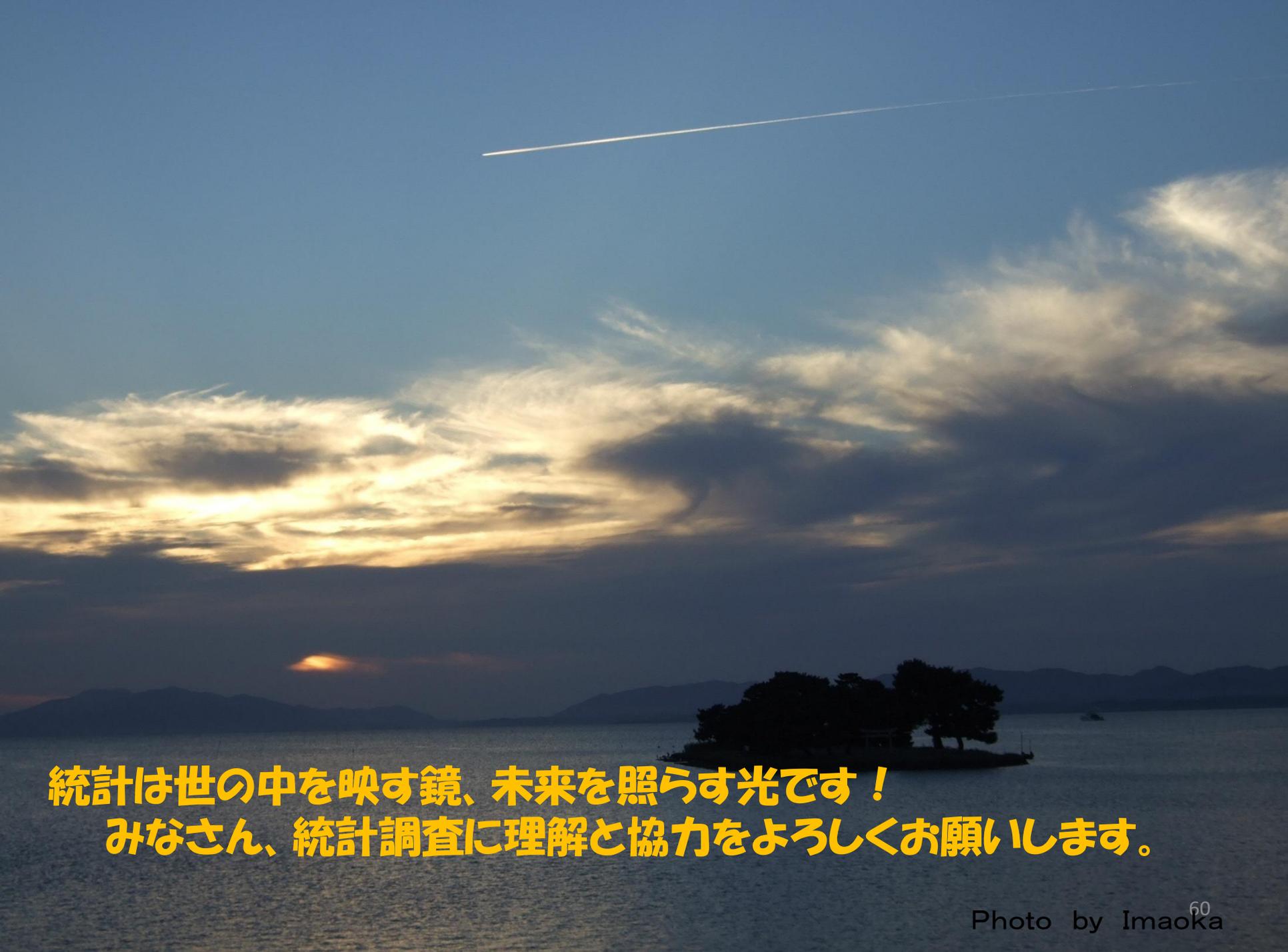
名称	所管府省	周期	調査期間	備考
労働力調査	総務省	毎年	毎月	就職・失業の状況 など
小売物価統計調査	総務省	毎年	毎月	物価の状況
家計調査	総務省	毎年	毎月	家計の状況
毎月勤労統計調査	厚生労働省	毎年	毎月※	賃金・労働時間

県統計調査課主管の調査員を経由する調査のみ

※ 毎月勤労統計調査の特別調査は7月31日

(参考) 今年度の主な周期調査

令和3年度	所管府省	周期	調査期間	備考
経済センサス-活動調査	総務省・ 経済産業省	5年	6月1日	全数調査
社会生活基本調査	総務省	5年	10月20日	抽出調査



**統計は世の中を映す鏡、未来を照らす光です！
みなさん、統計調査に理解と協力をよろしくお願いします。**